

鹿児島市及び連携中枢都市圏3市のNPO（市民活動団体）のご紹介

無償の愛情と癒しを運ぶ動物たちは、地球上の『天使』であるという意味を込めて。



NPO法人Earth Angel Dog（理事長 石原 涼子/みち子）

いしはら りょうこ

日本にはなかったもの。それなら外に取りに行こう。

最初のきっかけは難聴者である母との暮らし。ある日テレビで聴導犬がいることを知ったみち子さん。「当時日本には聴導犬はいませんでした。聴導犬を育てるためのライセンスも取れない。日本で取れないなら、アメリカに行こう。そう娘と決めました。」もともと犬も猫も大好きな家族。犬についての勉強をもっとしたいと純粋に思う気持ちがあったという。「アメリカの訓練所を自ら調べ、手紙を送り、そこからは約1年間かけてやり取りを進めました。アメリカまで日本人が学びに行くなんて訓練所としても初めてのことで、ノウハウをもらうには契約を結ぶ必要がありましたし、その契約も簡単には結ぶことができない。法律的なことが英語でずらずらと書かれた分厚い契約書が届きました。そこからさらに翻訳者を探し始めて…1年間本当に大変でした。」なぜ私たちが動物のことについて学びたいのかを綴った論文やビデオレターを送ることも。そこから無事契約を結び、約半年間のアメリカでの生活が始まった。

犬と一緒に飼い主さん自身も育てていく

アメリカでは、犬たちのメンタルケアがとても細かく、動物愛護精神が素晴らしい。そこまでするのか、とってしまうほどのトレーニングや愛情のかけ方。当時の日本には犬の"躰をする"という認識はなかったが、アメリカでは各地域に基本的な人間社会のルールを教える教室があった。「犬の命をこんなにも大切にしている。躰、環境、どれをとっても動物と共生するために必要な多くのことが日本にはなく、遅れているのだと感じました」。アメリカから戻り、平成11年にボランティア団体を設立。そこから14年間はボランティア活動を続け、平成25年に法人化。NPO法人Earth Angel Dogが生まれた。自分たちで犬を育ててお渡しするのではなく、飼い主さん自身を育成していくという、日本の中にはあまりないスタイルを選んだ。10年前くらいからペットブームが起り、犬に対する注目度は自然と上がっていった。



これまでの日本における犬は「番犬」というイメージ。それがだんだんと家族の一員という意識に変わっていった。そうすると躰の重要性も出てくる。トレーニング教室に通いたいという飼い主さんも増えてきた。

飼い主はセラピストとして、適性のある犬はセラピー犬として認定され、いろんなことができるようになってくると、人と動物が共生する”社会”に触れてもらう機会も提案できるようになった。例えば、老人ホームを訪問して高齢者の方々とセラピー犬が触れ合う機会。また、小学校に訪問して『犬に触ったことない、どういうふうに触っていいのかわからない。犬は噛むものだ』と思っている子どもたちに、ちゃんと躰をすれば大丈夫なんだよと話をし、実際に犬たちのぬくもり、小さな命に触れてもらう。それらは飼い主さん自身の喜びが高まることにもつながる。

「ペットブームで犬を飼うひとが増えた一方で、安易に犬を飼って手放す人もいます。犬には盲導犬、介助犬、聴導犬など、人の役に立っている犬たちがたくさんいる。人と動物が共生するだけでなく、人間が動物たちを守っていかないといけないので、子どもの頃から動物愛護について学んでもらいたいと思っています。」

人間と動物が共生する社会、そこから生まれる可能性を鹿児島から発信していく

人と動物が良い関係を築き、ともに暮らせる社会をつくりたい。そのためには犬を飼っている人たちが集える場所やともに楽しみ、学べる機会をもっとつくって、人と動物が良い関係で過ごせる社会。それを鹿児島から発信していきたいと考えているお二人。

「飼い主さんが困ったときに相談にのって的確なアドバイスをお伝えできる場所があること、また飼い主さん同士のコミュニケーションがとれる機会をつくることで、自然と犬について学び合う機会にもなると思います。そこから飼い主さんの意識も高くなり、犬の殺処分や手放す数も減っていくのではと考えています」。セラピストやセラピードッグが増えていくことで、各地で開催されるイベントや日常のなかに人と動物が共生する社会がある、そんな世界を目指して夢を語るお二人に引き続きエールを送りたい。

NPO法人Earth Angel Dog 団体概要

主な活動内容

人と動物が互いの良い関係を築き、心と心を通わせ、共に笑顔で過ごせる社会を構築するため、動物愛護精神を大切に、人と動物のQOLの向上、動物福祉、高齢者福祉、児童教育などに関する活動を行っている。



今後の展望・PRしたいこと

人と動物の共生社会の実現に向けて大きくは「学ぶ」、「暮らし」、「娯楽」3つのテーマについての事業展開を考えております。例えば「学ぶ」については、愛犬との信頼関係・コミュニケーション等を学ぶために犬のお手入れ教室や、犬の手作りおもちゃ、お洋服、料理などを学べる教室の展開。

課題への取り組み

今後私たちが培ってきた知識や技術を生かした事業展開を考えたときに必要になるのは「場所」。その拠点づくりに向けて、いろんな方々に相談しています。また、長年ボランティア団体としてやってきた流れで法人化したこの組織が、NPOとして持続的に活動できるよう新たな事業展開を検討している。

お問い合わせ

●団体名：NPO法人Earth Angel Dog

●理事長：石原 涼子

●Mail：angel-dog@cnc.bbiq.jp

●ホームページ http://www1.bbiq.jp/angeldog/